広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話91番

世帯主の結核 精神障害に七割給付

一時出かせぎに 保険證を交付

◎一時出かせぎや旅行する者には保険証を別に作ります

今まで保険証は一世帯に一つだけしか交付出来ないことになっており、特例として修学中の学生に対しては別個の保険証を交付出来ることになっていましたが、今回被保険者が旅行、出張、出かせぎ、その他の理由によって長い間住所を離れるような時には、世帯主が印鑑と保険証を持って役場の国保係まで来ていただいたら別個の保険証を交付出来ることになりました。

今までこの時出かせぎ中や旅行で病気になった時には、保険証を持っていないことが多く、お医者さんえは本人が金額を支払いしておいて、あとから療養費の支給から申請を役場え出して支払いした金額を支払いしていても保険の方から療養費の支給は出来ないことがありますので御注意下さるようお願いします。

◎世帯主の結核性疾患及び精神障害は七割給付となりました

国民健康保険の給付率は五割ですから医者にかかった場合診療費として診療をうけるようにして下さい。今までのように「保険証を持っていなかった」とか「国保の取扱いをしない医師であった」とかいう理由では、たとえ本人が全額を支払いしていても保険の方から療養費の支給は出来ないことがありますので御注意下さるようお願いします。

◎世帯主の結核性疾患及び精神障害は七割給付となりました

国民健康保険の給付率は五割ですから医者にかかった場合診療費の総額が千円の場合には、本人が五百円、保険が五百円支払いすることになります。結核や精神病は長い病気であります。結核や精神病は長い病気であります。結核や精神病は長い病気であ

国民年金

保険料について

天候に恵まれた農繁期も今が最盛期で皆様御多忙御苦労様で御座います。十月末日現在の国民年金が受けられるようになりまして、十年以後からは年々二部一三部と増額していくことになります。この額は五部と増額していくことは、百年先を思う者は人を植え、百年先を思う者は人を育て教育標語にありますが、私も老後を思う者は年金に加入し、保険料を納入せよと大声をもって皆さんに呼びかけたい気持ちであります。

そのくらい国は社会福祉の根本なるものの、国民年金であると、政府各党あげてこれが改善推進につとめております。その未端の皆さんが笑顔で老後を過される日を想い浮べながら微笑し研究に研究を重ねて居る次第であります。

国民年金の前身である厚生年金（福祉年金といいます）が昭和三十六年十一月一日現在で町内の受給権者が一ケ年に支給されて居る金額を見ますと、該当者七三六名で実に八百九拾七万四千円の商工業に従事する者は、国民年金に入られて居ない方でも、年金を受給されるよう毎年四月から納付のぎりぎりふるって保険料を納入されるようおすすめいたします。

【厚生課国民年金係】

伊方町商工会発足

十月二十七日伊方小学校講堂で伊方町商工会の創立総会が開催され会員二二三名が参加しました。

商工会創立の目的は、地区内商工業の全般の繁栄のための諸事業特に小規模事業者の金融、税務、経理、商取引等日常生ずる経営上の諸問題について総合的改善発展を図るため、商工業に関し相談に応じ指導すること、情報および資料を収集して提供する。又講習会および講演会を開催することなどになっています。

又役員は次の通り選出されました。

会長　宇都宮　勇（中浦）
副会長　武智　英雄（須賀）
〃　松下　鶴行（仁田浜）
理事　明神喜春（大浜）中元清吉（仁田ノ浜）山下宇八（河内）尾崎吉雄（藤浦）明神紀男（藤浦）佐々木勝（藤浦）大道政左門（小中浦）宮部恵（中浦）青山時太郎（川永田）中川鶴次郎（志ノ浦）橋又作（須賀）松田十三江（久保）道上豊（加間）監事渡辺喜久雄（須賀）藤井民生（藤浦）

十一月下旬十二月中旬の営農

一、米、麦について

1、水稲品代予定地は秋耕し寒風にさらし、赤土、腐植土の客土をしておくとよい。

2、移植麦は本葉四乃至五枚の頃に三寸角に三条乃至四条に植付けて、麦ブミを行ない肥料を施用。

3、普通栽培麦は本葉三、四枚の頃中耕麦踏を行なう、植付前に石灰当六袋施用するとよい。

4、麦の生育が例年よくないところは、みつかね肥料を四乃至五袋施用するとよいです。

二、柑橘関係について

1、秋苗の仮植床又は定植地には日和が七日あれば必らず灌水を行なうことが肝要である。

2、仮植床、定植地にて防風垣未完の場合は速やかに人工垣の造成に努めること。

3、早生みかん園の秋肥は、組合配合で十一月下旬までに完了の事。

4、普通温州の秋肥は十二月中旬に組合の指定配合を施用すること。

5、普通温州の採收は七、八分着色を標準にして、仮貯蔵用はLM級の中程度にして、天成りすぎ成りは貯蔵に向けぬよう注意。

6、柑橘園の消成（苗木代）貯蔵運搬用テーラ動噴配管、灌水施設等に関しては融資制度がありますから農協、役場へ相談の上活用されるとよいです。

7、柑橘園の造成に当っては、反当六〇石の水を確保する事が幼木育成の必須要件です。共同施設の実現化へ意欲をそそがれること。

三、畜産関係について

1、和牛飼養者は繁殖付歩合をよくするため、発情後、種付二、三〇分前に引き運動をしておくこと。

2、週に一回は必ず、希釈より引出し、クシ、ハケにて手入すること。

3、養豚関係について

(イ)哺乳豚は夜間、寒を冷やさぬように、赤外線電球を点灯して加温をしてやる。

(ロ)豚の種付は離乳直後の発情で交配すると受胎率が高い。

(ハ)今後の飼養経費は多頭飼育の場合は、肥育二本立とし仔豚生産は生産二本とし、仔豚価格は個体評価の取引として前進することが望ましい。

(ニ)仔豚のえらび方について

①体型とりみたよいもの。

②胴の張りのびのよい。

③胸の張みがある。

④資がやわらかで足のつなぎがしっかり立っている。

(ホ)鼻のしやくれが適度によく、アゴが野生資がやわらかくまでうすく、しっかり立っている。

③わるいもの。

(イ)背がなるみ状がとがっている

(ロ)尾がたれている。

(ハ)下腹がゆるく大きくて足のつなぎがねている。

(ニ)尻が細長く、とがっている。

四、養鶏について

①二年鶏は一日の日照時間を十四乃至十五時間になる様点灯飼育が必要。すこの場合飼料はいくむと「さあごはんのつぶ拾おう」かんずめのあきカンの中に一つぶづつ拾わすのも大変な苦労がいる。午後は机をかたずけてお昼寝そしておやつと、とてもいそがしい。子供達が帰ってしまうと食器洗いがはじまる。ぬるま湯で洗うと衛生的で熱消毒をする。熱湯消毒をする間に保育日誌をつけ、おわると田原簿などの書類をつけて帰る。そのころには、もう西の空はタやけになりあたりはうす暗くなっている。夕食がすむと、自分の日記をつける。家計簿手紙を書いてから明日の計画をたてる。さあねようと思うころはもう一時か十二時になっている。しんと静まりかえった中で子供達の寝顔をながめながらふとんをかけてやり静かに母も眠っていく。

②幼雛期の育雛には、動物蛋白質と、カルシウムを多く供与すると発育が良好となる。

③幼雛期の育雛には、動物蛋白質分多くやるとよい。

④冬期のビタミンの保給用として今朝に小麦麩にて、麦芽を準備して、飼料中へ投入混和するとよい。

⑤鶏舎内の湿度変差を少なくする自由換気による鶏舎の設合種目が今後増加して行くに対応して、生産費の低下を図り、品質を維持して行くには、有機度肥料を欠くことが出来ず、肥料中において価格も一番高価である窒素において今後は、経営耕地の三分の一は自給有機或は購入有機質肥料の五、六割は自給で、この場合に家畜糞尿を活用することが最も有利です。参考まで有機質の主な成分を示すと

鶏糞N三・八P三・二K一・二
大豆粕N六・〇P一・〇K一・〇
菜種粕N五・一P二・五K一・一
魚粕いわしN八・〇P七・〇K

農業改良普及員　藤川伊勢由

明るい一家

ぼくらの作品

伊方中学校一年二組　井上喜美子

保母の一日

私の母は保母をしています。そこで私は、保母の一日を調べました。母は毎朝四時二十分に起き、一日の最初の事として洗濯をします。六時ごろ朝食を取り七時まで掃除をします。そろそろがすむと保育所へ行きます。豊ノ浦の保育所には水道がありません。そこで、すっと上の井戸までにないに行かないといけません。八時前になるとそろそろ子供たちがやってきます。一人ずつ迎えてやりながら「一人できたの。えらかったねえ」とほめてやります。「お掃り」の歌をうたいながら部屋につくと、さっそく「おはよ」のあいさつをします。

あいさつがすむとお食事調べです。今日はごはんについての話らしいです。「電気釜でごはん炊く所」「はい。はい」と半分くらいの子供が手をあげる。「あれ、桃ちゃんとこ何で炊くの」というと「ニッシャンカマドでたく」と小さな声で言いました。「たきもので炊く所」「はい」と半分くらいの子供が手をあげる。「ガスで炊く所」また何人か手をあげる。「あれ、桃ちゃんとこ何で炊くの」というと「ニッシャンカマドでたく」と小さな声で言いました。こんな小さいことにも気をつかわなくては保母はつとまらないのかなあと思いました。

絵を書いたりぬりえをしてすむと自由時間になります。われさきに走ってブランコにのります。「先生たかし君はうしろへぶらさがっていけんぜ」「さよちゃんみたいにケガしてもえの。ケガしたら保育所休まないけんよ」というと「ぼくらもうしろへぶらさがらんようにしよう」

さて待望のお弁当の時間。自由時間の間にわかした茶をコップに入れてやる。「お父さん、お母さんいただきます」言い終るか終らないうちに「ムシヤ、ムシヤ」食べている子もいる。ごはんがすんだ。大きなおかずが、さほーんと音をたてていました。ぼくはむねがどきどきしていましたとべこうくんが「とおじくんおそや」といったのでおきました。そしていちろくくんかたのこう一くんにきいなもーやかいがらひろってもらいました。おさむくんやたろうくんもひろってくれました。ぼくたちはうみの中をよいではとりました。そしてとりやめて、きれいなもーやかいそろなどとおどされます。うおのみそちゃんはいなすです。みよほんのことをとんとんといいます。せっちゃんのけたをはいたりします。みよちゃんはいっちおばあさん。

九町小学校二年雪組　くぼの　とおし

かいすいよく

ぼくは、はまへさてたいそうをしてから、うみの中へはまりました。ぼくはたのしかったな。おさむくんやろうくんもひろってくれました。ぼくたちはうみの中をあるいたりおよいだりしてみんなたのしかったなとおもいました。

九町小学校二年雪組　とくのうえ　こ

いもうとのこと

わたしの、いもうとはみよちゃんといいます。

みよちゃんはいつも、あさはやくおきます。わたしとせっちゃんくおきます。ひるにねたらよるおそくねます。ひるにねたらよるおそくねます。おかあさんがさきにねるときもあります。みよちゃんはおそくねたりはやくねたりします。

おかあさんがきたらすぐにはねたりします。

おかあさんがさきにねるときもあります。みよちゃんはおそくねたりはやくねたりします。

おかあさんがきたらすぐにはねます。わたしとせっちゃんとはもうねたりおきたりします。

いつもねるのはたしやんにねます。わたしとせっちゃんとはもうねたりおきたりします。

おかあさんがきたらすぐにはねます。みよちゃんはおそくねたりはやくね